

ごみの減量と家庭ごみ有料化に関する
市民アンケート調査結果

平成 22 年 3 月

国立市生活環境部ごみ減量課

目次

1. 調査の概要	3
・ 調査の目的	
・ 調査の設計	
・ 調査項目	
・ 回収結果	
・ 報告書の見方	
2. 調査結果	
《調査対象者に関する基本属性について》	4
・ 年齢	
・ 性別	
・ 世帯の人数	
・ 住まいの形態	
《ごみの減量やリサイクルの取り組みについて》	6
・ ごみの減量やリサイクルの取り組み	
・ ごみの減量やリサイクルの取り組みをしていない主な理由	
・ ごみの減量やリサイクルを推進するための市に必要な取り組み	
《家庭ごみの有料化について》	8
・ 家庭ごみの有料化実施の際の市に必要な取り組み	
・ 家庭ごみの有料化実施後の変化	
・ 家庭ごみの有料化実施後の新たな取り組み	
・ 家庭ごみの有料化実施後に取り組み方が変化しない主な理由	
・ 毎月の負担額について（全世帯、世帯人数別）	
・ 戸別収集について	
・ 家庭ごみの有料化の賛否について（全年代、年代別）	
・ 家庭ごみの有料化についての意見	
<有料化に関する主な意見>	
<その他の主な意見>	
3. 考察	
《ごみの減量やリサイクルの取り組みについて》	21
《家庭ごみの有料化について》	21

1. 調査の概要

○調査の目的

本調査は、「国立市循環型社会形成推進基本計画」の施策のうちで、市民生活に大きな影響を及ぼすと思われる「家庭ごみ有料化」と「ごみの減量やリサイクルに関する日常の取り組み」について、現時点での意見や取り組み状況を聞き、今後の施策を検討する上での基礎資料として活用することを目的としたものである。

○調査の設計

- (1) 調査対象 20歳以上の市内在住者 2,000名
※平成21年9月1日現在の住民基本台帳より層化無作為抽出
(地域、年齢、性別に偏りのないように抽出)
- (2) 調査方法 郵送配布一郵送回収
- (3) 調査期間 平成21年9月16日～10月16日

○調査項目

- (1) 調査対象者に関する基本属性について
回答者の年齢、性別、世帯人数、住まいの形態
- (2) ごみの減量やリサイクルについて
実践しているごみの減量やリサイクルの取り組み方法、市に必要な取り組み
- (3) 家庭ごみの有料化について
家庭ごみの有料化による影響、負担額、賛否、戸別収集についての意見

○回収結果

項目	全体	備考
母集団数	74,343人	平成21年9月1日現在
標本数	2,000人	
抽出率	2.7%	標本数/母集団数
回収数	812人	
回収率	40.6%	回収数/標本数

○報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数を基数として百分率で示したものや回答数で示したものがあある。
- (2) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ統計的に差のあるものを中心にふれている。

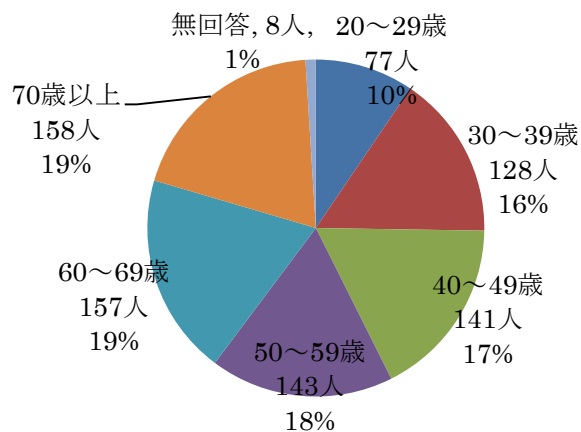
2. 調査結果

《調査対象者に関する基本属性について》

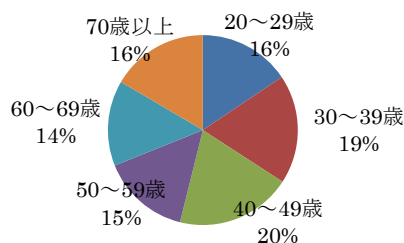
問1

(1) 年齢

60歳～69歳、70歳以上の回答者が多く、年代が若くなるにつれ若干ではあるが減少している。

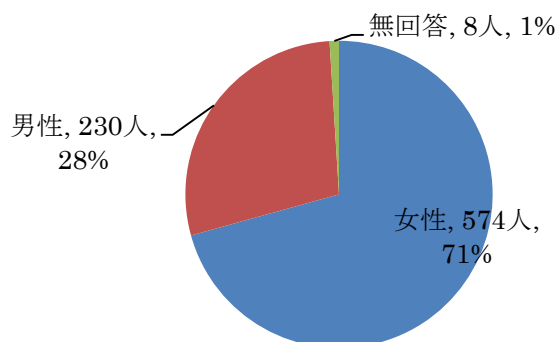


※ 20歳以上人口 年代別構成割合（平成22年1月1日現在 外国人登録含まず）



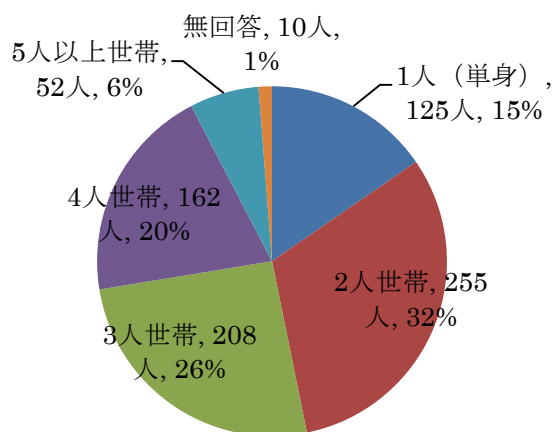
(2) 性別

回答者の性別は約7割が女性である(アンケートは男女同数送付)。



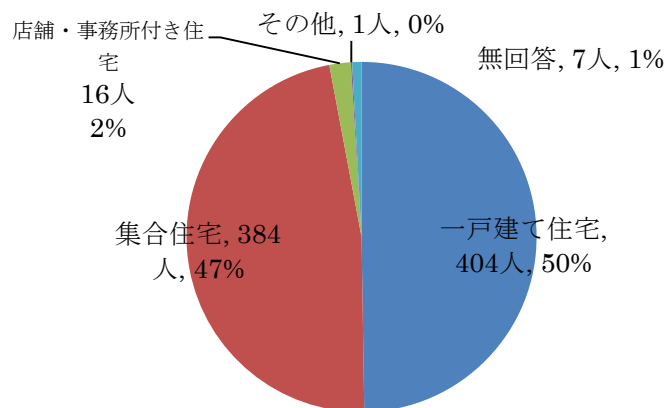
(3) 世帯の人数

回答者は2人世帯(32%)が最も多く、次いで3人世帯(26%)となっている。



(4) 住まいの形態

一戸建て住宅、集合住宅の割合はほぼ等しくなっている。



※「その他」の回答内容

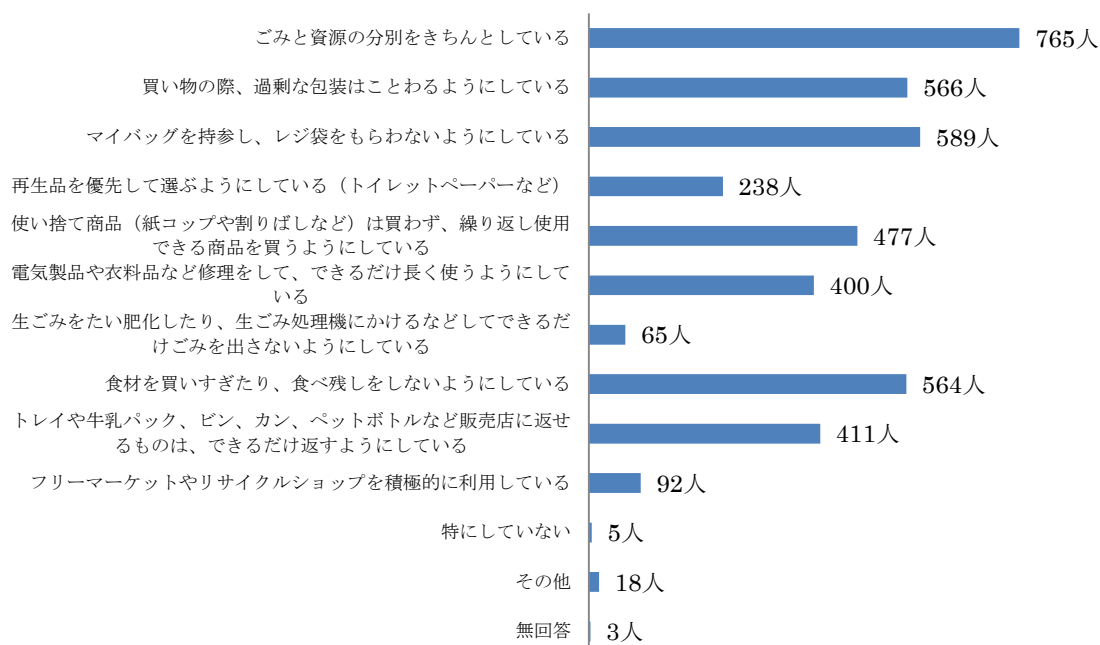
- ・ 1階が自宅、2階がコーポになっている。

《ごみの減量やリサイクルの取り組みについて》

問2 ごみの減量やリサイクルの取り組みについて、あなたが実行していることはありますか。(複数回答可)

「ごみと資源の分別をきちんとしている」(765人)が最も多く、次いで「マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」(589人)、「買い物の際、過剰な包装はことわるようにしている」(566人)、「食材を買いすぎたり、食べ残しをしないようにしている」(564人)となっている。

日常生活において、ごみの分別に対する意識と買い物の際のごみ減量意識(ごみになる物を家庭に持ち込まない)の高さがうかがえる。

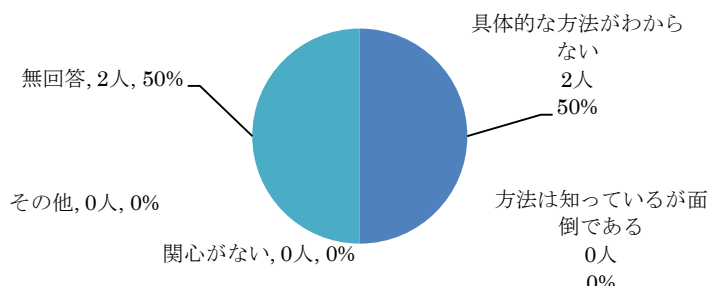


※「その他」の主な回答内容

- ・自治会等の集団回収に出している。
- ・レジ袋をごみ袋として利用している。
- ・必要以外の物は購入を控えるようにしている。

問3 問2で「11. 特にしていない。」を選んだ方は、主な理由をお答えください。

該当者は4人と少ない。そのうち2人は「具体的な方法がわからない」である。

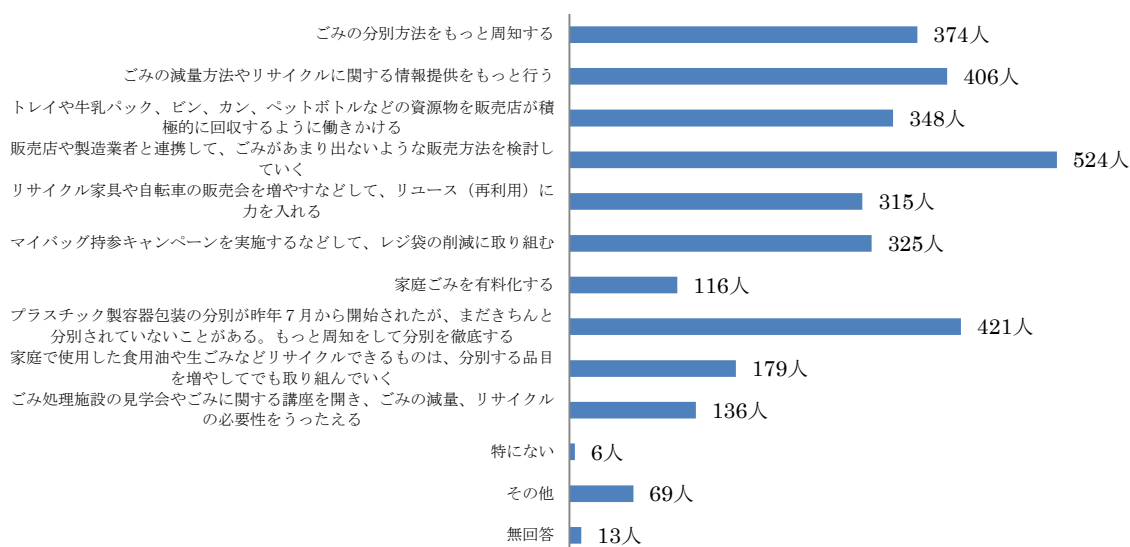


問4 今後、ごみの減量やリサイクルを推進するにあたり、市に必要な取り組みは何だと思いますか。(複数回答可)

「販売店や製造業者と連携して、ごみあまり出ないような販売方法を検討していく」(524人)が最も多く、次いで「プラスチック製容器包装の分別が昨年7月から開始されたが、まだきちんと分別されていないことがある。もっと周知をして分別を徹底する」(421人)となっている。

今後、事業者と市が連携をとって販売方法を検討し、過剰包装等を削減させていくことが必要な取り組みとして期待されているようである。

さらに、分別収集が開始されて1年以上が経過しているプラスチック製容器包装について、未だに徹底されていないとの意見が多くある。プラスチック製容器包装に限らず、全体的に分別方法が分かりにくいといった意見もあるので、より分かりやすい分別表の作成や市報等での啓発が必要だと思われる。



※「その他」の主な回答内容

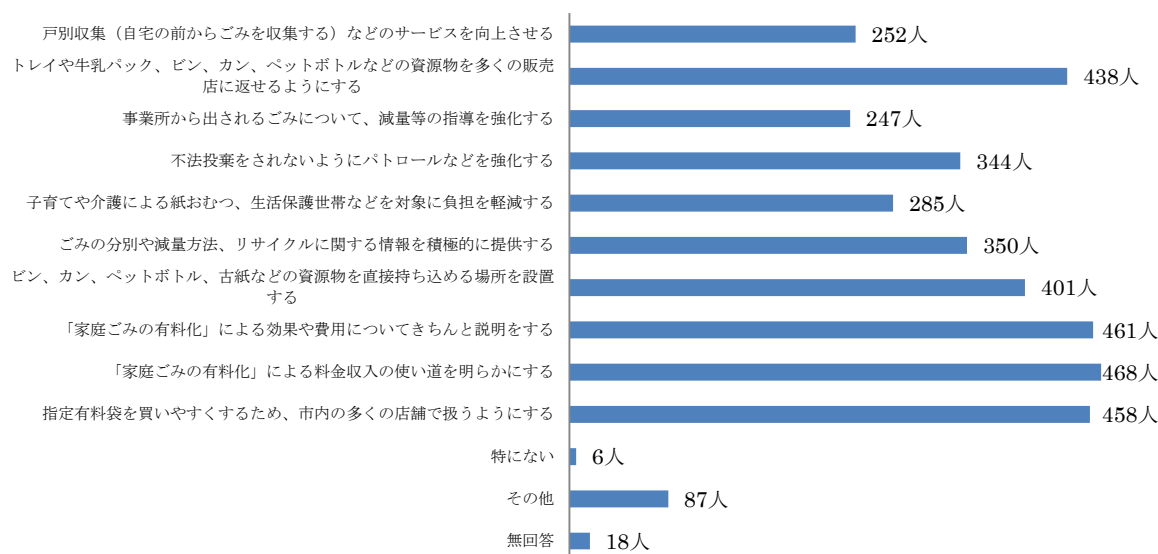
- ・商品を入れている容器や包装がごみの大部分である。事業者の販売方法の改善を働きかけることが重要だと思う。
- ・粗大ごみの料金が低い。リサイクルを促すために価格をもっと下げてはどうか。
- ・市でリサイクル品（衣料品等）の販売を積極的に行う。
- ・分別されたごみがどのようにリサイクルされているか、写真付きの冊子等を配り、具体的にイメージできるようにする。
- ・具体例を詳しく載せたごみの分別表を作って欲しい。

《家庭ごみの有料化について》

問5 当市もごみの減量やリサイクルの推進に有効な手段として、「家庭ごみの有料化」を考えていますが、実施する場合、どのような点に配慮しなければならないと思いますか。（複数回答可）

「家庭ごみ有料化による料金収入の使い道を明らかにする」が最も多く(468人)、次いで「家庭ごみ有料化による効果や費用についてきちんと説明をする」(461人)、「指定有料袋を買いやすくするため、市内の多くの店舗で扱うようにする」(458人)である。

有料化を実施する場合、ごみの減量効果や費用、手数料収入の使い道等をきちんと説明し、理解をしてもらうことが必要である。また、指定有料袋を手軽に購入できるように取扱店を多くしたり、トレイ・牛乳パック等の資源物を販売店が積極的に受け入れるように働きかけるなど、環境整備も必要であると思われる。

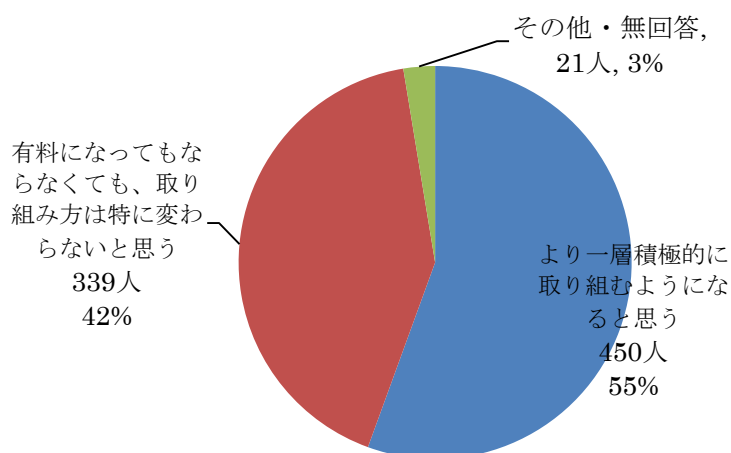


※「その他」の主な回答内容

- ・道路の清掃をして出たごみは無料にして欲しい。
- ・子育てや介護で使用する紙おむつは無料を出せるようにして欲しい。
- ・ごみの処理費用は税金でまかなうべきである。
- ・ごみが有料になった分、税金を安くすべきである。
- ・不法投棄されたごみの処理について、被害者が出ないように配慮すべきだと思う。
- ・ごみ袋のサイズを何種類か用意する。単身世帯は生ごみがそれ程多くない。袋の料金も小さいものは安くする。
- ・ごみ袋をカラス被害の少ない色（黄色）にする。
- ・生ごみの収集時間をカラス被害等にあわないように配慮して欲しい。
- ・有料化を実施するのであれば、まず資源物の販売店回収やごみが出ない販売方法など、できるだけ家庭からごみが出ない環境を整えてからにして欲しい。

問6 家庭ごみが有料化された場合、ごみの減量やリサイクルに対する取り組み方が変わると思われますか。

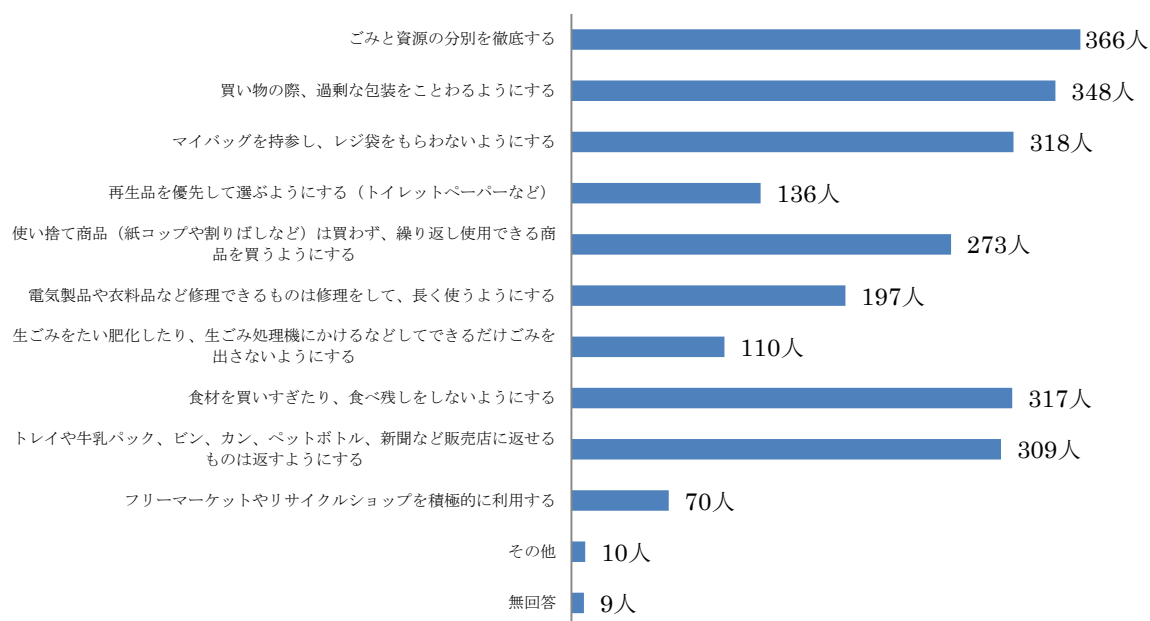
「より一層積極的に取り組むようになると思う」が55%、「有料になっても少なくとも取り組み方は特に変わらないと思う」が42%である。有料化実施によりごみ減量、リサイクル意識は高まると期待できる。



問7 問6で「1. より一層積極的に取り組むようになると思う。」を選んだ方は、どのような取り組みをしますか。

「ごみと資源の分別を徹底する」(366人)が最も多く、次いで「買い物の際、過剰な包装をことわるようにする」(348人)となっている。

問2の「ごみの減量やリサイクルの取り組み」の現状と照らし合わせてみると、回答数の多い項目はほぼ重複しており、有料化により分別の徹底と購入段階での削減努力がさらに促進できると期待される。

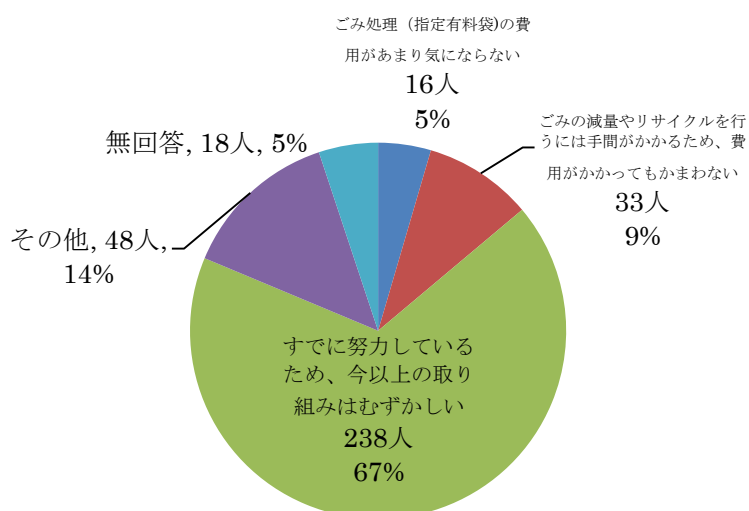


※「その他」の主な回答内容

- ・必要かどうかよく考えてから買い物をするようになる。
- ・とにかくごみを出さないようにする。
- ・コンポストを使用し、生ごみを出さないようにする。

問8 問6で「2. 有料になってもならなくても、取り組み方は特に変わらないと思う。」を選んだ方は、主な理由をお答えください。

7割程度が「すでに努力しているため、今以上の取り組みはむずかしい」と回答している。ごみの減量やリサイクルの推進について、既に意識の高い回答者は有料か無料かに関わらず積極的に取り組んでいるようである。



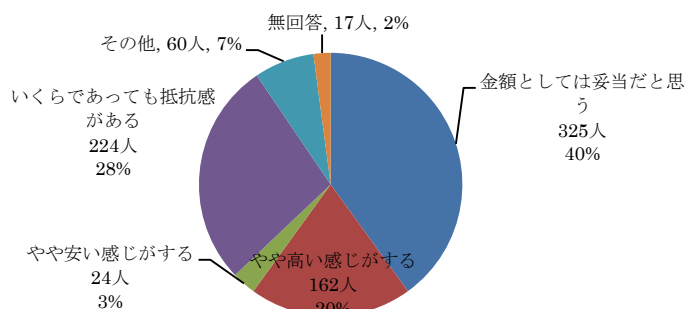
※「その他」の主な回答内容

- ・一時的に努力はするが慣れてしまうと変わらなくなると思う。
- ・努力できているかは分からないが、生活する上で今以上ごみに手間や時間をかけられるかはわからない。
- ・ごみを減らすには限界がある。
- ・ごみの量は変わらず、ごみ出しの回数が減るだけではないか（ごみ袋に一杯入れて出すようになる。）。

問9 家庭ごみが有料化された場合、当市では世帯あたりの毎月の負担額を500円程度と見込んでいますが、この金額に負担を感じますか。

「金額としては妥当だと思う」(40%)が最も多く、次いで「いくらであっても抵抗感がある」(28%)、「やや高い感じがする」(20%)である。

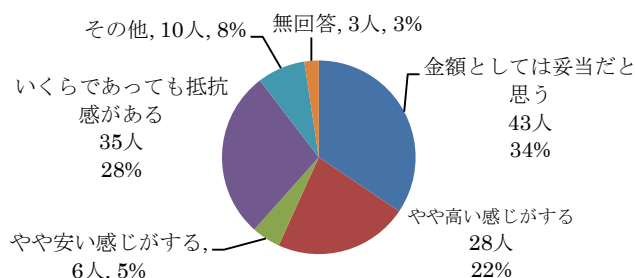
全世帯



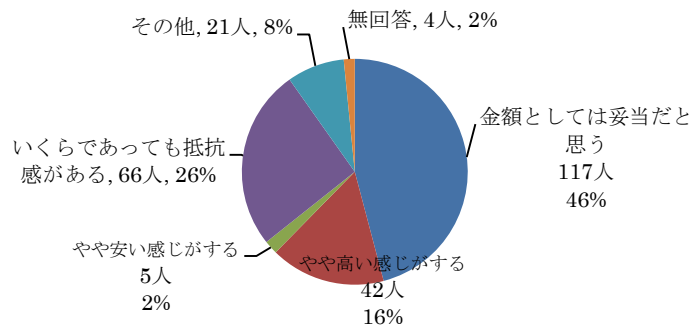
世帯人数別で見ると、「いくらであっても抵抗感がある」がどの世帯をみても26%~29%と平均しており、「金額としては妥当だと思う」が二人世帯46%、五人以上世帯48%と高い。「負担額500円」というのは、市内全世帯数の平均(世帯人数は加味していない)で算出しているため、世帯人数が少ない場合は高く、逆に多い場合は安く感じるのではないかと予測していた(世帯人数が多いと生活費がより多くかかるため、その分家計を逼迫して負担を強く感じる可能性もあるが...)。しかし、結果をみると世帯人数の少ない二人世帯が「金額としては妥当だと思う」を46%の回答者が選択していた。これは、夫婦共働きや生活費があまりかからない等の理由で金銭的に他の世帯に比べ余裕があり、また、ごみ自体も二人世帯のため、あまり出ないといったことが理由だと思われる。

「その他」の回答欄では、費用負担の仕方を従量制(指定有料袋に入れてごみを出す方法)のつもりで質問をしていたが、説明が不十分だったためか定額制(ごみの量にかかわらず毎月定額を負担する方法)と勘違いをして回答された内容も見られた。

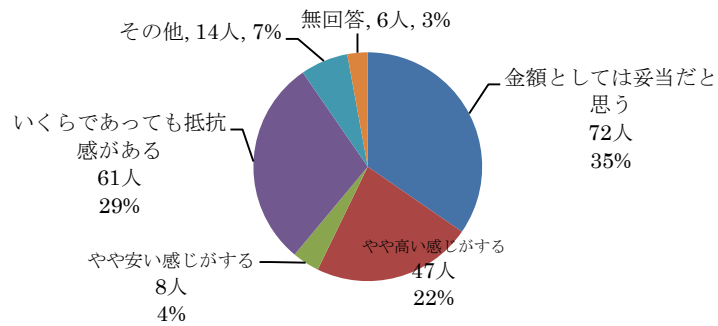
一人世帯



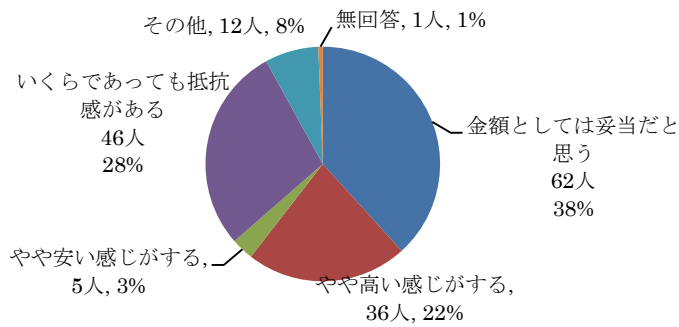
二人世帯



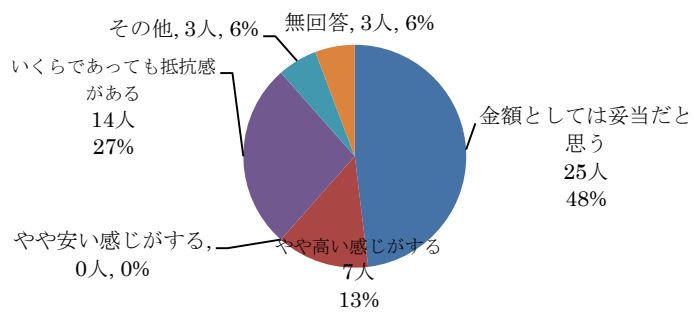
三人世帯



四人世帯



五人以上世帯



※「その他」の主な回答内容

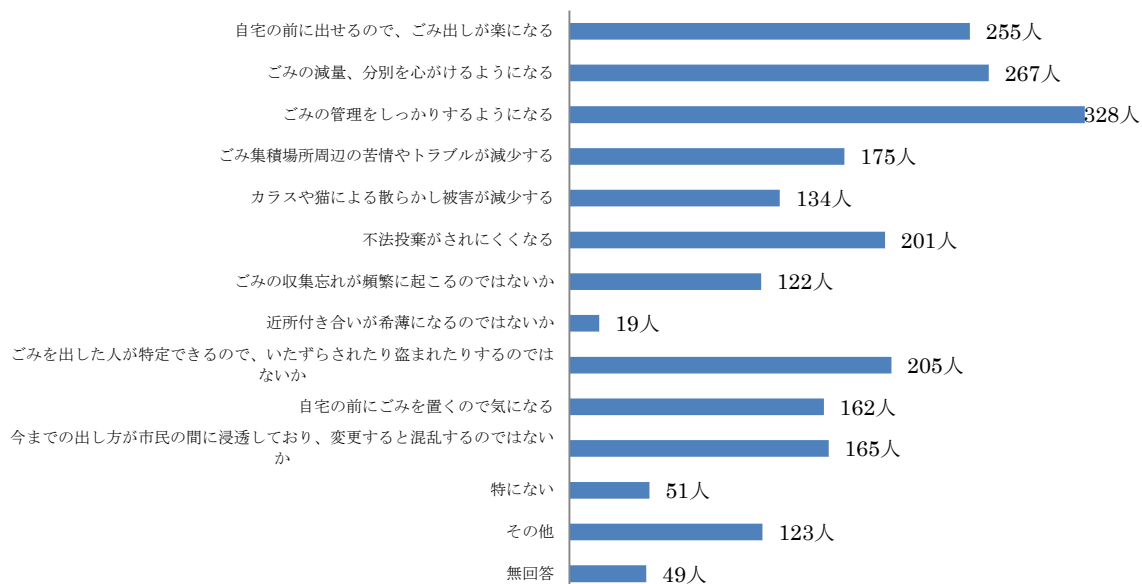
- ・世帯により収入が違うため感じ方はそれぞれ異なると思う。500円でもキツイが、市で決めたことなら従うしかないと思う。
- ・世帯の人数によって負担感は違うと思う。
- ・見込みが甘い。もっとかかると思う。
- ・税金より安いかもしれないが、目に見えるように金をとると不法投棄をする人が増えるのではないか。
- ・負担金の使い道を明確にし、正しい使い方ができるなら妥当な額である。

問10 家庭ごみが有料化された場合、戸別収集（自宅の前からごみを収集する）を行う予定ですが、戸別収集についてどう思いますか。（複数回答可）

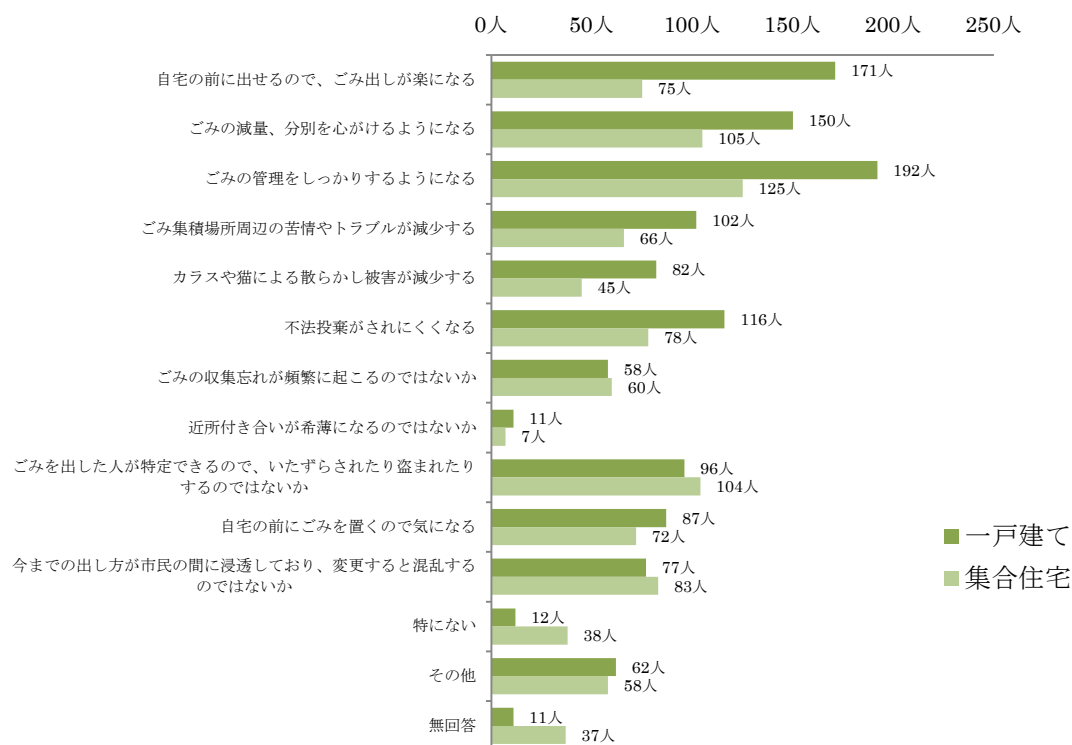
「ごみの管理をしっかりするようになる」（328人）が最も多く、次いで「ごみの減量、分別を心がけるようになる」（267人）、「自宅の前に出せるので、ごみ出しが楽になる」（255人）である。

戸別収集を実施することでごみに対する意識が高まり、さらに自宅前に出すことで毎日のごみ出しの負担が軽くなると感じている回答者が多いようである。

しかしながら、「ごみを出した人が特定できるので、いたずらされたり盗まれたりするのではないか」（205人）が比較的多く、実施の際には収集時間をできるだけ早く、ごみを放置しておく時間を短くするなどの配慮が必要だと思われる。



※ 住まいの形態（問1-（4））で「一戸建て」、「集合住宅」を選択した回答者が、それぞれ戸別収集についてどう思っているか。



戸別収集により、ごみ出し場所が変更になるのは「一戸建て」の居住者で、「集合住宅」の居住者はこれまで通りで変更がない。そのため、「一戸建て」と「集合住宅」の居住者で回答内容の差が顕著に表れたのは、「自宅の前に出せるので、ごみ出しが楽になる」で、次いで「ごみの管理をしっかりとできるようになる」、「ごみの減量、分別を心がけるようになる」である。

※ 「その他」の主な回答内容

- ・カラスや猫による散らかし被害が増加するのではないかと。
- ・収集時間が遅くなりカラス被害が増えるのではないかと。
- ・自宅前がごみ集積場所なので嫌な思いをしている。ぜひ戸別収集にして欲しい。
- ・不法投棄された場合は誰が負担をするのか。
- ・集合住宅への不法投棄が増えるのではないかと。
- ・まちにごみがあふれ、汚く見えるのではないかと。
- ・多くの家庭でカラス除けネットを掛けることになるのでみっともない。
- ・収集コストが増えるのではないかと。有料化に見合うサービスとは思えない。
- ・ごみ収集は公道でやって欲しい。私道の中まで入って収集して欲しくない。

- ・集合住宅と一戸建ての家庭ではごみに対する意識に差があり、どこまで改善させられるかは疑問である。
- ・ごみ集積場所を持たない集合住宅に対し、対策をしっかりとって欲しい。
- ・戸別収集は反対である。
- ・トラブルが多くなると思う。

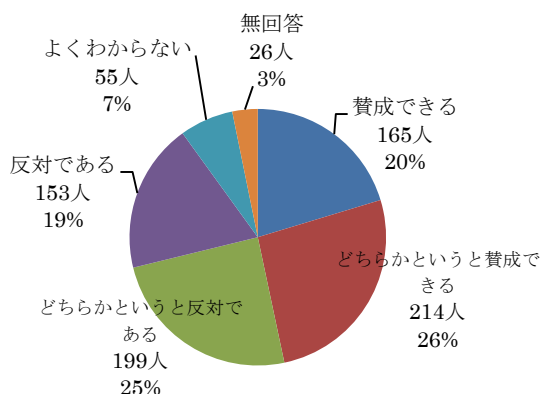
問 11 問 5 の配慮する事項が検討された場合、あなたは「家庭ごみの有料化」に賛成できますか。

賛成が 46%（「賛成できる」が 20%、「どちらかというとな賛成できる」が 26%）
 反対が 44%（「反対である」が 19%、「どちらかというとな反対である」が 25%）
 と意見が二つに分かれている。

「賛成できる」と回答した場合でも、有料化によるごみの減量効果や費用、料金収入の使い道を明確にすることを条件とした回答が目立っている。

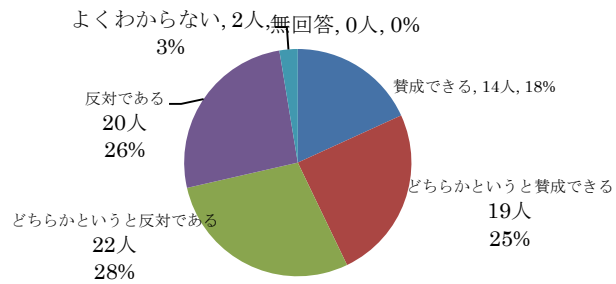
有料化実施の際は、説明や広報活動を十分に行っていくことが必要だと思われる。

全年代

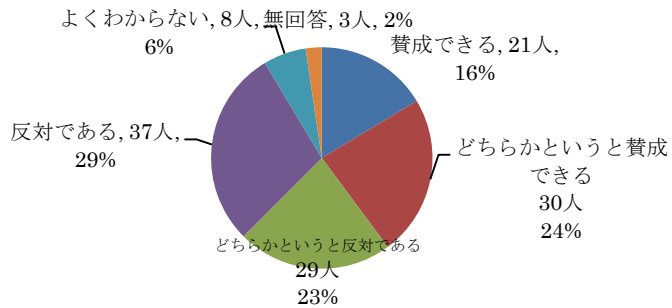


年代別で見ると 20代～40代は「反対」が「賛成」より多いが、50代以上は逆に「賛成」が「反対」を上回っている。

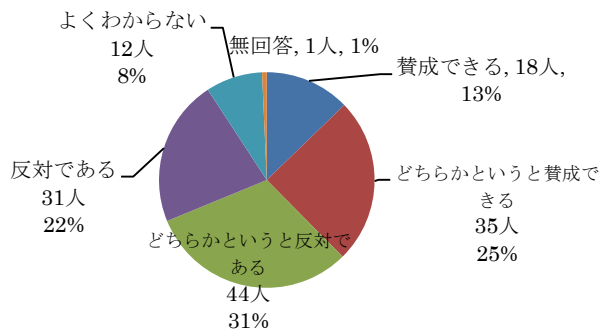
20代



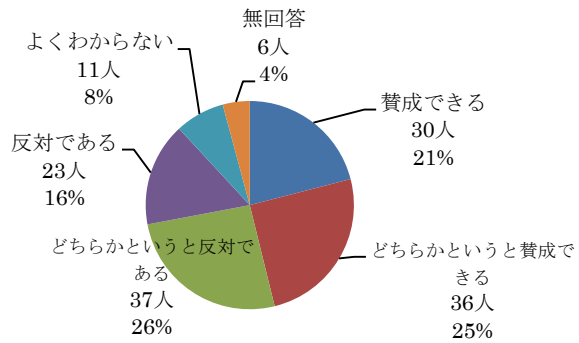
30代



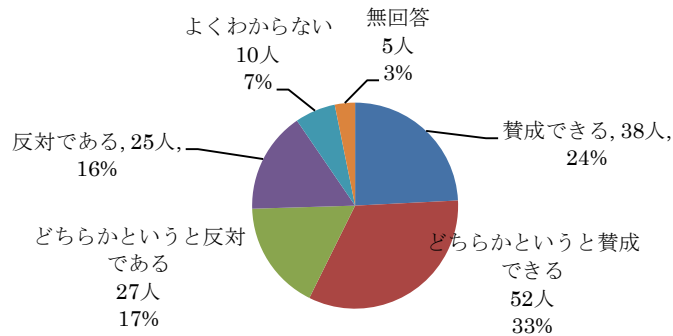
40代



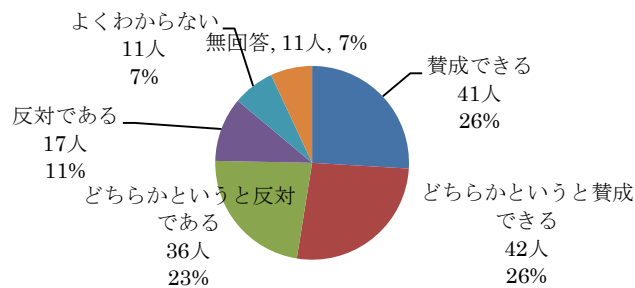
50代



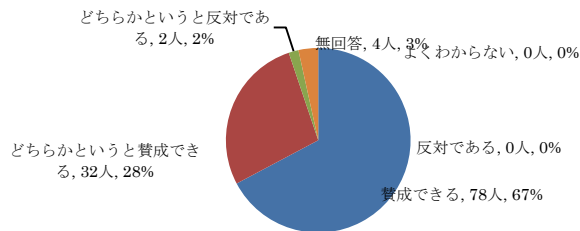
60代



70代以上



※ 問4の「ごみ減量やリサイクルの推進のために、市に必要な取り組みは何か。」で「7. 家庭ごみを有料化する」を選択した回答者（116人）の賛否割合



問12 「家庭ごみの有料化」についてご意見がございましたら、下欄にご記入ください。

有料化を実施する場合の主な意見（条件）としては、「不法投棄防止対策を立てる」、「指定有料袋の種類（サイズ）を増やす」、「ごみの減量効果、費用、手数料収入の使い道を市民に説明する」、「事業者にごみが出ないような販売方法（過剰包装の削減等）をするように働きかける」である。

有料化に否定的な主な意見としては、「ごみ処理の費用は税金でまかなうべきものである」、「不法投棄が増える」、「市はごみを減らす工夫（政策等）をもっとすべきである」、「有料化の前に市の財政の無駄を省くべきである」、「生活が苦しくなる」、「時期（不景気）が悪い」である。

<有料化に関する主な意見>

- ・不法投棄が必ず増える。行政がどのように対応してくれるか不安である。不法投棄防止対策をきちんと立ててからにして欲しい。
- ・有料化は不法投棄を増やすだけで、お金を払っているから分別も適当にするという考え方を助長させるのではないか。有料化は絶対反対である。
- ・市の財政でまかなうべきものである。有料化を提案する前に財政の無駄を見直すべきである。
- ・市議会議員の数をもっと減らせないか。市の職員や議員の給料も減らしてからにすべきである。
- ・ごみの減量を徹底し、再生利用するものについてはできるだけ利益を上げるようにして、費用の軽減に努めてもらいたい。
- ・他市が有料化を実施しているから、という比較はすべきではない。高い住民税なのだから、できれば税金でまかなって欲しい。不景気な時にわずかな金額でも生活に支障をきたす場合もある。十分検討してから実施して欲しい。
- ・なぜ税金での徴収を考えないのか。本来、税金でまかなうべきであり、ごみ料金として特別計上し一般家庭から税金として徴収すべきである。
- ・家庭ごみを有料にする分、住民税を安くしないとおかしい。
- ・市民税も十分高いと感じている。ごみ減量の名目でさらに費用負担を求められている気がする。ごみ減量や環境保護などは各人の意識次第であり、どれだけ多くの方が意識して生活をするかが重要と考える。
- ・有料化の前に市役所全般の人員削減を含めたコストの削減を実行し、その結果を誰にでもわかるように公開したうえで議論して欲しい。
- ・他に減らせる歳出があるのに保育園の民営化やごみの有料化など、国立市は弱者を切り捨てるのか。
- ・ごみを分別する理由、ごみ処理の方法、なぜごみの減量が必要なのか、市の財政状況などの情報が少ない。有料化の前にきめ細かい情報提供が必要だと思う。
- ・ごみの減量を徹底的に呼びかけて欲しい。現状だとまだ足りないと思う。有料化は反対である。
- ・有料化による料金収入の使い道を明らかにし、その効果をきちんと説明する必要がある。
- ・有料化は収入に応じた負担にして欲しい。
- ・不況の中、有料化するのは一般市民にとって大変な事だと思うので、負担にならない様に考えて欲しい。
- ・有料化を実施してもごみが減るとは思えない。導入してすぐは効果があるかもしれないが、慣れてしまえば以前と同じになってしまうと思う。

- ・全てのごみを有料にすると分別の意味を感じない人が多くなってしまわないか。“可燃ごみ”だけ有料にする方が良いと思う。
- ・現在のような数世帯で一ヶ所の集積場所にごみ出しをする方法だと「誰が出したか分からないからいいだろう。」といった、いい加減な気持ちを持ってしまいがちである。有料化を実施して戸別収集になれば、今よりも少しはまともなごみの出し方をするようになるのではないか。
- ・戸別収集をサービス向上というのは、分別の個人責任を迫っていく意図が見えて全くいい感じがしない。
- ・戸別収集になった場合、集合住宅は今まで通りのごみ集積場所というのでは困る。自宅の横がごみ集積場所になっており、集合住宅の住人のごみ出しがいつも問題になっている。集合住宅の前や責任者宅の前にするなど、検討して欲しい。
- ・ごみ減量を目的とするなら、事業所のごみ減量からまず強化すべきだと思う。
- ・ごみの減量は事業者も販売方法の工夫（過剰包装の削減等）をしなければ、市民の努力だけでは限界がある。
- ・はじめに有料化ありきのようなアンケートの構成はいかがなものか。有料化するから戸別収集するなど設問に疑問を感じる。ごみの減量に市がどのような努力をしているのか伝わってこない。
- ・有料化の目的は不公平感、減量意識の問題だけなのか。市としてもっと違う目的があってもよいのではないか。
- ・一辺の長さが 50cm 未満であればいつものごみで出していたが、有料化になった場合、袋の中に入りにくいものはどうなるのか。
- ・有料ごみ袋を 20ℓ、30ℓ、40ℓ等何種類か用意して欲しい。落葉を入れる無料の袋も用意して欲しい。
- ・一定枚数のごみ袋を無料で配布し、それを超えた分についてだけ有料袋を買ってもらうというのはどうか。
- ・有料袋はカラスの被害が少ない黄色のものにして欲しい。市内のごみ集積場所をみるとネットは掛けているが、カラス対策にあまり役立っていないように見える。
- ・有料化は賛成である。多くの県、市では当たり前を実施している。
- ・人口の少ない市町村でさえ有料化を実施しているのに、多くの人々が生活する都市部で実施するのは当然のことだと思う。

<その他の主な意見>

- ・プラスチック類の分別は細かすぎて難しい。もう少し分かりやすい分別が望ましいと思う。
- ・全体的に分別が細かすぎるのもっと大まかにして欲しい。
- ・混合の素材でできている製品の分別方法が分からない。

- ・資源ごみの分別の種類をもっと増やして欲しい。
- ・トレイ、紙パック等をリサイクルに出すためにきれいに洗っているが、そのための水が環境に対してどうなのか気になる。
- ・ビン、カン、ペットボトルをいつでも出せる場所が欲しい。
- ・缶やペットボトル専用の回収ボックスを置いて欲しい。
- ・生ごみ処理機で肥料を作り、農家に渡すのはどうか。
- ・生ごみ処理機をもっと普及させて欲しい。
- ・集合住宅の場合、ごみ袋に名前を書かせるのはどうか。
- ・夜間に収集をすればカラスや猫の被害も減ると思う。
- ・子供のうちからごみについて関心を持たせることが必要である。学校の授業などで扱ってみてはどうか。

3. 考察

《ごみの減量やリサイクルの取り組みについて》

回答者の取り組みとして「マイバッグの持参」、「過剰包装の拒否」、「食材を買いすぎない」といった内容が多くなっており、購入段階でいかにごみになる物を持ち込まないように努力をしているかがうかがえる。

また、市に必要な取り組みとして「販売店や製造業者と連携してごみが出ない販売方法を検討していく」が多く、事業者と連携を取り、販売段階で過剰包装等を削減し、さらに購入（使用）後、不要となった容器や包装等を販売店が積極的に受け入れるように整備していくことが期待されている。

昨年7月から開始された「プラスチック製容器包装の分別」についても、未だに徹底されていないという意見が多く、実際に収集作業員や処理施設の作業員からも同様な意見があり、現場での作業にかなりの労力を要しているのが現状である。開始から1年以上が経過し、改めて「プラスチック製容器包装の分別」指導や啓発に力を入れていく必要があると思われる。

《家庭ごみの有料化について》

家庭ごみ有料化に関する意見（条件）や自由回答等より、主要な課題は以下の通りである。

- ・有料化による料金収入の使い道を明らかにする。
- ・有料化による効果や費用についてきちんと説明をする。
- ・指定有料袋を必要な時に買えるように多くの店舗で扱う。
- ・トレイや牛乳パック等の資源物を販売店に返せるようにする。
- ・不法投棄防止の取り組みをする。
- ・様々なサイズの指定有料袋を揃える。

有料化を実施することにより、ごみ減量やリサイクルに対する取り組み方を「より一層取り組むようになる」(55%)が、「取り組みは変わらない」(42%)を上回っていることから、有料化による効果は期待できると思われる。

戸別収集については実施を歓迎している回答者が多いが、その一方で自宅前にごみを置く不安(いたずらやプライバシーの問題)を抱える人も多い。実施の際はこの点について配慮が必要であろう。

問4の「ごみ減量やリサイクルの推進のために、市に必要な取り組みは何か。」で「7. 家庭ごみを有料化する。」を選択した回答者は全体(812人)の約14%と少ないが、問11では約46%（「どちらかというとな賛成できる」を含む。）が「家庭ごみの有料化」を賛成と回答している。これは、家庭ごみ有料化は市民の費用負担が増えるため、個人としては積極的に進めて欲しくはないが、近隣市の状況やごみ減量効果等社会的責任から考えると実施されても仕方がないと感じ、賛成しているものと思われる。

問12の「家庭ごみの有料化」についての自由回答では、「有料化を実施する前に市の財政の無駄を省くべきである」、「ごみ処理費用は税金でまかなうべきである」、「不景気の今、実施すべきではない」、「生活が苦しい」、「事業者に対し、ごみの出ない販売方法を働きかけるべきである」、「事業者に処理費用を負担させるべきである」といった意見や「不法投棄が増加するのではないか」といった不安が多数記載されていた。特に不法投棄が増えることを危惧している内容が多く、何らかの対策を講ずることで不安を取り除く必要があると思われる。

以上のように「ごみの減量やリサイクルの取り組みについて」意見や要望、「家庭ごみの有料化について」では、実施する上での条件、要望、反対意見やなど多くの回答をいただいた。特に自由回答には有料化反対の意見が多く書かれており、中には大変厳しい内容のものもあった。今後、実施する際にはこういった意見も加味しながら出来るだけ多くの市民から合意を得られるよう、情報提供の充実や説明等により、市民と行政との信頼関係を構築して慎重に進めていくことが何より重要だと思われる。

ごみの減量と家庭ごみの有料化に関する市民アンケート調査

日頃より当市の廃棄物行政につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。当市ではごみの減量を図り、環境にやさしい「循環型社会」を実現するために、平成18年度に「国立市循環型社会形成推進基本計画」を策定し、現在この計画にもとづいた施策を展開しています。

「国立市循環型社会形成推進基本計画」

期 間	目 標
第1期 (平成18～22年度)	平成22年度に『1人1日あたりの「ごみと(自治会等で行う)集団回収の合計量』を12年度に比べて10%減量。 971.4g → 874.3g → 97.1gの減量が目標。
第2期 (平成23～27年度)	平成27年度に22年度と比べて10%減量が目標。



この目標を達成するために「国立市循環型社会形成推進基本計画」の施策のうちで、市民の皆さまに大きな影響を及ぼすと思われる「家庭ごみの有料化」についてご意見をお聞きし、実施に向け参考にしたいと考えています。

また、この調査ではごみの減量やリサイクルに関する日常の取り組み状況やご意見についてもお聞きしていますが、これは今後の施策を検討する際の基礎資料とするためのものです。

ぜひご協力をお願いします。

なお、皆さまのご住所とお名前は住民基本台帳(平成21年9月1日現在)より、無作為に抽出いたしました。

アンケートには記名の必要はありません。

お手数ですがご記入いただきましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**10月16日(金)**までにご投函をお願いします。

アンケートについて個々に公表されることは一切ありません。

<この調査に関する問い合わせ先>

国立市生活環境部 ごみ減量課 清掃係

電話：576-2111 (内線141～143)

問1 あなたご自身についておたずねします。
次の中からあてはまるものを選んで○をしてください。

(1) 年齢

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

(2) 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

(3) 世帯の人数（あなたご自身を含めて）

- | | | |
|-----------|---------|-------|
| 1. 1人（単身） | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | |

(4) 住まいの形態

1. 一戸建て住宅
2. 集合住宅（アパート、マンション、寮など）
3. 店舗・事務所付き住宅
4. その他（ ）



◀ ごみの減量やリサイクルの取り組みについて ▶

問2 ごみの減量やリサイクルの取り組みについて、あなたが実行していることはありますか。
次の中からあてはまるものを選んで○をしてください。（複数回答可）

1. ごみと資源の分別をきちんとしている。
2. 買い物の際、過剰な包装はことわるようにしている。
3. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしている。
4. 再生品を優先して選ぶようにしている（トイレットペーパーなど）。
5. 使い捨て商品（紙コップや割りばしなど）は買わず、繰り返し使用できる商品を買うようにしている。
6. 電気製品や衣料品など修理をして、できるだけ長く使うようにしている。
7. 生ごみをたい肥化したり、生ごみ処理機にかけるなどしてできるだけごみを出さないようにしている。
8. 食材を買いすぎたり、食べ残しをしないようにしている。
9. トレイや牛乳パック、ビン、カン、ペットボトルなど販売店に返せるものは、できるだけ返すようにしている。
10. フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に利用している。
11. 特にしていない。（問3へ）
12. その他（ ）

問3 問2で「11. 特にしていない。」を選んだ方は、主な理由をお答えください。次の中から一つだけ選んで○をしてください。


1. 具体的な方法がわからない。
2. 方法は知っているが面倒である。
3. 関心がない。
4. その他（ ）



問4 今後、ごみの減量やリサイクルを推進するにあたり、市に必要な取り組みは何だと思いますか。
次の中から**あてはまるものを選んで○**をしてください。(複数回答可)

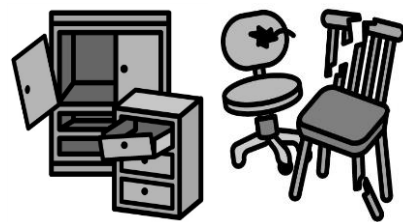
1. ごみの分別方法をもっと周知する。
2. ごみの減量方法やリサイクルに関する情報提供をもっと行う。
3. トレイや牛乳パック、ビン、カン、ペットボトルなどの資源物を販売店が積極的に回収するように働きかける。
4. 販売店や製造業者と連携して、ごみあまり出ないような販売方法を検討していく。
5. リサイクル家具や自転車の販売会を増やすなどして、リユース（再利用）に力を入れる。
6. マイバッグ持参キャンペーンを実施するなどして、レジ袋の削減に取り組む。
7. 家庭ごみを有料化する。
8. プラスチック製容器包装^{*}の分別が昨年7月から開始されたが、まだきちんと分別されていないことがある。もっと周知をして分別を徹底する。
9. 家庭で使用した食用油や生ごみなどリサイクルできるものは、分別する品目を増やしてでも取り組んでいく。
10. ごみ処理施設の見学会やごみに関する講座を開き、ごみの減量、リサイクルの必要性をうったえる。
11. 特にない。
12. その他 ()

*プラスチック製容器包装とは…

お菓子の袋やプリンのカップ、シャンプーのボトル、卵パックなどのプラスチック製の容器や包装ごみのことです。マークが目安です。

これらについては製造業者や販売業者が、リサイクル費用の大部分を負担することになっているため、当市の処理費用はわずかですみます。

詳しくは最終ページにある **お知らせ** をご覧ください。



◀ 家庭ごみの有料化について ▶

現在、粗大ごみを除く家庭ごみについては無料で収集し、処理の費用については全て税金でまかなわれています。19年度の収集や処分費用、人件費などの清掃費総額は約16億円で市の歳出額で見ると7%と大きな割合を占めています。

また、現在のように無料で収集をしている場合、ごみの量による家庭の負担に差がないため減量に頑張っている家庭がむくわれない制度ともいえます。そういった不公平感を解消し、さらに市民のごみに対する減量意識を高めるために、指定有料袋によるごみ収集が多くの市ですでに始められています。

(多摩地域では25市1町のうち、17市が「家庭ごみの有料化」を実施しています。


さらに今年度中に、2市が実施する予定です。)

当市で「家庭ごみの有料化」を実施した場合、世帯あたりで週に200袋(1袋：40円)を3袋出すと推計すると毎月500円程度負担していただくことになります。

(他市でもほぼ同程度の負担額となっています。)

問5 当市もごみの減量やリサイクルの推進に有効な手段として、「家庭ごみの有料化」を考えていますが、実施する場合、どのような点に配慮しなければいけないと思いますか。

次の中から**あてはまるものを選んで○**をしてください。(複数回答可)

1. 戸別収集（自宅の前からごみを収集する）などのサービスを向上させる。
2. トレイや牛乳パック、ビン、カン、ペットボトルなどの資源物を多くの販売店に返せるようにする。
3. 事業所から出されるごみについて、減量等の指導を強化する。
4. 不法投棄をされないようにパトロールなどを強化する。
5. 子育てや介護による紙おむつ、生活保護世帯などを対象に負担を軽減する。
6. ごみの分別や減量方法、リサイクルに関する情報を積極的に提供する。
7. ビン、カン、ペットボトル、古紙などの資源物を直接持ち込める場所を設置する。
8. 「家庭ごみの有料化」による効果や費用についてきちんと説明をする。
9. 「家庭ごみの有料化」による料金収入の使い道を明らかにする。
10. 指定有料袋を買いやすくするため、市内の多くの店舗で扱うようにする。
11. 特にない。
12. その他（)

問6 家庭ごみが有料化された場合、ごみの減量やリサイクルに対する取り組み方は変わるとお考えですか。**どちらか選んで○**をしてください。

1. より一層積極的に取り組むようになると思う。(問7へ)
2. 有料になってもならなくても、取り組み方は特に変わらないと思う。(問8へ)

問7 問6で「1. より一層積極的に取り組むようになると思う。」を選んだ方は、どのような取り組みをしますか。次の中から**あてはまるものを選んで○**をしてください。(複数回答可)

1. ごみと資源の分別を徹底する。
2. 買い物の際、過剰な包装をことわるようにする。
3. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにする。
4. 再生品を優先して選ぶようにする(トイレットペーパーなど)。
5. 使い捨て商品(紙コップや割りばしなど)は買わず、繰り返し使用できる商品を買うようにする。
6. 電気製品や衣料品など修理できるものは修理をして、長く使うようにする。
7. 生ごみをたい肥化したり、生ごみ処理機にかけるなどしてできるだけごみを出さないようにする。
8. 食材を買いすぎたり、食べ残しをしないようにする。
9. トレイや牛乳パック、ビン、カン、ペットボトル、新聞など販売店に返せるものは返すようにする。
10. フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に利用する。
11. その他 ()



問8 問6で「2. 有料になってもならなくても、取り組み方は特に変わらないと思う。」を選んだ方は、主な理由をお答えください。次の中から**一つだけ選んで○**をしてください。

1. ごみ処理(指定有料袋)の費用があまり気にならない。
2. ごみの減量やリサイクルを行うには手間がかかるため、費用がかかってもかまわない。
3. すでに努力しているため、今以上の取り組みはむずかしい。
4. その他 ()

問9 家庭ごみが有料化された場合、当市では世帯あたりの毎月の負担額を500円程度と見込んでいますが、この金額に負担を感じますか。次の中から**一つだけ選んで○**をしてください。

1. 金額としては妥当だと思う。
2. やや高い感じがする。
3. やや安い感じがする。
4. いくらであっても抵抗感がある。
5. その他 ()

問12 「家庭ごみの有料化」についてご意見がございましたら、下欄にご記入ください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

お知らせ

平成20年7月より **プラスチック製容器包装の分別** がスタートしました。これにより、これまで焼却していたプラスチック類の一部がリサイクルされるようになりました。リサイクルの費用は事業者が大部分を負担することになるため、市の負担はわずかですみます。また、資源としてリサイクルされるため限りある資源の有効活用にもなります。スタートして1年が経ちましたが、まだきちんと分別されていないごみ袋が見られます。ぜひ、プラスチック製容器包装の分別にご協力ください。


○分別方法

毎週月曜日または火曜日（地区により異なります。）の不燃ごみの日は、多いときで**4種類**の分別になります。



- ・茶わん
- ・ヤカン
- ・傘
- ・小型の家電製品
など



-  マークのあるものが目安になります。
- ・トレイ類
 - ・弁当の容器
 - ・お菓子の袋
 - ・カップめんの容器
など



- ・洗面器
- ・バケツ
- ・ハンガー
- ・歯ブラシ
など



- ・蛍光管
- ・体温計
- ・乾電池
など